

【令和5年度】

経営協議会学外委員からのご意見を本学の運営に活用した主な取組事例

経営協議会学外委員からのご意見	取組事例	備考
寄附事業といった行動に専門的な業務分野については、外部の専門スタッフに委託してはどうか。	令和6年4月1日から、本学教職員以外の者に東京農工大学シニアアンバサダーの名称を付与を行う、「シニアアンバサダー制度」を導入し、広報活動及び外部資金獲得の一層の推進を図る体制を整えた。	令和5年度第1回（経営協議会） （令和5年4月25日開催）
授業料改定に際し、ステークホルダーである学生や保護者に対し、大学生活の魅力を高めるために行われることが伝わるよう、公表内容を工夫してはどうか。	授業料改定の背景について、学長ビジョンを明記すると共に、教育・修学環境・修学支援等の改革や科学技術や研究成果に基づくイノベーションの実装等についての記載を追加することで、ステークホルダーを意識した公表内容とし、周知を行った。	令和5年度第3回（経営協議会） （令和5年10月12日開催）
国立大学法人法ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書について、これまで非公表だった項目を含めて、全て公表してはどうか。	これまでの報告書（抜粋版）に加え、全ての原則が掲載された「国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況（全ての原則版）（令和5年度）」を公表した。	令和5年度第3回（経営協議会） （令和5年10月12日開催）
統合報告書において、学長ビジョンの実現に向けた取り組み等に関する対談を掲載するとより良いものになる。また、グローバル化の観点から、英語版の冊子を作成することが望ましい。	令和6年4月に英語版の統合報告書を発行し、また、統合報告書2024において学長対談の企画を掲載することとした。	令和5年度第5回（経営協議会） （令和5年12月21日開催）